

中学校第3学年

国語 B

注意

- 1 先生の合図があるまで、冊子を開かないでください。
- 2 調査問題は、1ページから13ページまであります。
- 3 解答は、すべて解答用紙(解答冊子の「国語B」)に記入してください。
- 4 解答は、HBまたはBの黒鉛筆(シャープペンシルも可)を使い、濃く、はつきりと書いてください。
- 5 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 6 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 7 解答用紙の解答欄は、裏面にもあります。
- 8 調査時間は、45分間です。
- 9 「国語B」の解答用紙に、組、出席番号、性別を記入し、マーク欄を黒く塗りつぶしてください。

1

次は、作家の大岡玲おおおかあきらさんと女優の檀ふみだんさんの対談の一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

美しい 日本語とは

大岡 玲さん ×
檀 ふみさん



〔美しい日本語とは〕による。

〔美しい日本語とは〕による。

〔美しい日本語とは〕による。

(注1) 金田一春彦 言語学者。

(注2) ハーフクエスチョン 文中のある語の語尾を上げ、相手に尋ねるように問を取る言い方。

(注3) 同化圧力 ここでは、みんなと同じ言葉を使うことを強制するような力。

(注4) 艱難辛苦 困難にあつて悩み苦しむこと。

一 [] で囲まれた部分の檀さんの発言は、この対談の中でどのような役割を果たしていますか。その役割を説明したものと最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 大岡さんの発言に疑問を示した上で、新たな考えを引き出している。
- 2 大岡さんの発言を否定した上で、これからの話の方向を決めている。
- 3 大岡さんの発言を受け止めた上で、具体例を挙げて話題を広げている。
- 4 大岡さんの発言に賛成した上で、二人の意見の相違点を確認している。

二 次は、二人の対談がどのように展開しているか整理したものです。 [] に入る言葉として最も適切なものを、あとの1から4までのの中から一つ選びなさい。

日本語の歴史に触れて、昔の言葉や昔から指摘されている言葉の乱れなどについて話している。
自分たちの体験を振り返って、聞き苦しく感じる言葉や麗しい言葉などについて話している。
使う言葉の数が少なくなっていることを挙げて、 [] について話している。

- 1 言葉のあいまい化現象
- 2 発展途上にある日本語
- 3 積極的に使うべき言葉
- 4 日本語のもつリズム感

中村さんは、離れて暮らす祖母から「デジタルカメラで上手に写真が撮れない。シャッターボタンの押し方を教えてほしい。」と相談を受けました。そこで、次の【使用説明書の一部】を参考にして、祖母に分かりやすい説明書を作ろうと【祖母向けの説明書の下書き】を書いていきます。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【使用説明書の一部】

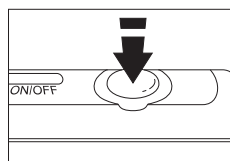
カメラにおまかせで撮る

1 シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせる。

被写体にピントが合うと「ピピッ」と音がして、オートフォーカスフレーム（画面中央の四角い枠）が緑に点灯する。次のような場合は、ピントが合いにくいことがある。

- (例)
- ・ 動きの速い被写体
 - ・ 近距離の被写体

なお、ピントが合わないとオートフォーカスフレームが赤く点灯するので、指を離してからもう一度半押しする。

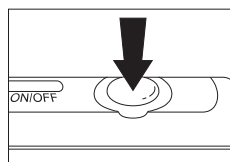


ピントが合うと、「ピピッ」と音がする。

半押し ⇨ シャッターボタンを抵抗を感じるところまで軽く押して、そのまま指を動かさないでいること。半押しすると、ピントが自動的に合う。

2 シャッターボタンを全押しして撮影する。

シャッター音がして写真が撮影される。シャッターボタンを押すときは、カメラが動いて手ブレが起きないように、静かに押し込む。

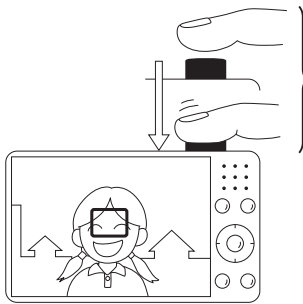


「カシャッ」と音がする。

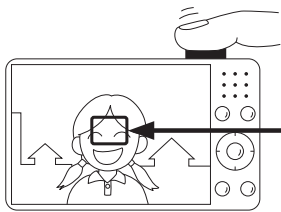
全押し ⇨ 半押しの状態から指を離さずに、シャッターボタンを深く押し込むこと。

おばあちゃんへ

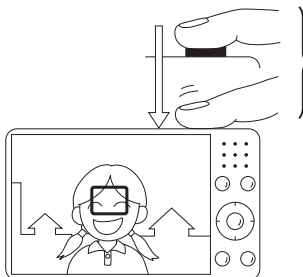
デジタルカメラのシャッターボタンの押し方をまとめましたので、参考にしてください。



① 撮りたいものにカメラを向けて、指が止まるまで軽くボタンを押します。



②



③ ②でピントが合ったら、指を離さずに、ボタンを静かに最後まで押すと、「カシャッ」と音がして写真が撮れます。

上手に撮れたら写真を送ってくださいね。

一 【使用説明書の一部】の中に――線部「被写体」とありますが、【祖母向けの説明書の下書き】では「被写体」のことを別の言葉で表現しています。その言葉を【祖母向けの説明書の下書き】の中から探し、抜き出しなさい。

二 中村さんは【祖母向けの説明書の下書き】で、祖母が理解しやすいようにどのような工夫をしていますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 元の文章の中にある専門用語をすべて取り上げ、それぞれに注釈を付けて説明している。
- 2 操作手順に沿って文章や図を書き換え、特に注意する事柄を明らかにして説明している。
- 3 文字を太くしたり下線を引いたりして、疑問に対する回答を強調して説明している。
- 4 全体にかかわる重要な事柄を最初に述べ、補足する事柄をあとにして説明している。

三 【祖母向けの説明書の下書き】の には、どのような説明を加えたらよいですか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 「緑」、「赤」、「ピピッ」という言葉をすべて使って書くこと。

条件2 六十字以上、八十字以内で書くこと。

3

中学生の川名さんは、小学生に「二ひきの蛙かえる」を朗読することになりました。次は、【朗読する物語】と朗読するために気を付けることを書いた【川名さんのメモ】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【川名さんのメモ】

○……朗読の仕方の工夫

▼……理由

○ 「黄色だね」のあとに間を取って、からかうような口調で読む。

▼ はたけでばったりゆきあった二ひきの蛙が、けんかを始めるきっかけになる言葉だから。

【朗読する物語】

二ひきの蛙

新美 南吉
にいみ なんきち

緑の蛙と黄色の蛙が、はたけのまんなかでばったりゆきあいました。

「やあ、きみは黄色だね。きたない色だ。」

と緑の蛙がいいました。

「きみは緑だね。きみはじぶんを美しいと思っているのかね。」

と黄色の蛙がいいました。

こんなふうに話しあっていると、よいことは起こりません。二ひきの蛙はとうとうけんかをはじめました。

緑の蛙は黄色の蛙の上にとびかかっていきました。この蛙はとびかかるのが得意でありました。

黄色の蛙はあとあしで砂をけとばしましたので、あいてはたびたび目玉から砂をはらわねばなりませんでした。

するとそのとき、寒い風がふいてきました。

○ 高く大きな声で、勢いよく一気に読む。

▼ けんかの勝負をつけることにこだわっている一方で、もうすぐ冬のやってくることを思い出して慌てているから。

○ 呼びかけるように、句読点ではっきりと区切って読む。

▼ 待ちかねていた春が来て、土の上に出てみると、けんかの相手である黄色の蛙がまだ起きていなかったから。

二ひきの蛙は、もうすぐ冬のやってくることをおもいだしました。蛙たちは土の中にもぐって寒い冬をこさねばならないのです。

「春になったら、このけんかの勝負をつける。」

と、緑の蛙は土にもぐりました。

「いまいったことをわすれるな。」

と、黄色の蛙ももぐりこみました。

寒い冬がやってきました。蛙たちのもぐっている土の上に、びゅうびゅうと北風がふいたり、霜柱が立ったりしました。

そしてそれから、春がめぐってきました。

土の中にねむっていた蛙たちは、せなかの上の土があたたかくなってきたのでわかりました。

さいしょに、緑の蛙が目をさしました。土の上に出てみました。まだほかの蛙は出ていません。

「おいおい、おきたまえ。もう春だぞ。」

と土の中にもぐってよびました。

すると、黄色の蛙が、

「やれやれ、春になったか。」

と、土から出てきました。

○ 「わすれたか」の「か」を挑発するように強く読む。

▼ 冬眠の前に「わすれるな」と言っていた黄色の蛙がのんびりと出てきたので、けんかのことを思い出させようとしているから。

「去年のけんか、わすれたか。」

と緑の蛙がいました。

「待て待て。からだの土をあらいおとしてからにしようぜ。」

と黄色の蛙がいました。

二ひきの蛙は、からだから泥土をおとすために、池のほうにいきました。

池には新しくわきでて、ラムネのようすがすがしい水がいつぱいにたたえられてありました。そのなかへ蛙たちは、とぶんとぶんとびこみました。

からだをあらってから緑の蛙が目をはちくりさせて、

「やあ、きみの黄色は美しい。」

といました。

「そういえば、きみの緑だつてすばらしいよ。」

と黄色の蛙がいました。

そこで二ひきの蛙は、

「もうけんかはよそう。」

といいあいました。

よくねむったあとでは、人間でも蛙でも、きげんがよくなるものであります。

(新美南吉「二ひきの蛙」による。)

一 この物語について説明したものと最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 二ひきの蛙が協力して困難を乗り越える様子を、音を表す言葉を用いてリズムよく書いている。
- 2 二ひきの蛙が人も蛙も同じ生物だと悟る様子を、動作を表す言葉を用いて客観的に書いている。
- 3 二ひきの蛙が友情を再確認していく様子を、緑の蛙の立場から話し言葉を用いて書いている。
- 4 二ひきの蛙がけんかをして仲直りする様子を、会話を多く用いて平易な言葉で書いている。

二 この物語に描かれている季節を、次の1から4までの中からすべて選びなさい。

- 1 春
- 2 夏
- 3 秋
- 4 冬

これで、国語Bの問題は終わりです。

平成 24 年度 全国学力・学習状況調査
平成 24 年 4 月 文部科学省